

国内の透析製品を製造するバクスター宮崎工場 太陽光発電システム導入で 2024 年温室効果ガス排出量 6.7%減めざす

バクスター・インターナショナル・インク(以下、バクスター)は、日本の宮崎工場で自家消費型太陽光発電システムを初めて設置し、2024 年より太陽光発電による温室効果ガス排出量の 6.7%(対前年)を削減できる見通しとなりましたのでお知らせいたします。宮崎工場は日本全国の「おうち透析(腹膜透析)^{※1}」を行う患者さんが治療に使用する透析液を製造しています。バクスターは日本において 1,577 人の雇用と 17,403 百万円^{※2}の GDP の創出を支えています。

宮崎工場において今回導入する太陽光発電システムは、年間電力需要量の約 20%を賄い、年間約 714t-CO₂の CO₂の排出削減が可能です。また、自家消費型太陽光発電システムは、電力需要の変動に影響を受けない電源を確保できるため、おうち透析(腹膜透析)を行う患者さんの治療に欠かせない透析液の安定供給に貢献します。

バクスターは [2023 年 6 月にコーポレート・レスポンシビリティ・レポート](#)を公開し、企業の社会的責任として、環境、健康、安全、サステナビリティにおける継続的な改善を地球規模で推進しています。この日本法人においても、製造拠点である宮崎工場における取り組みを推進しており、過去 5 年間では「エネルギー使用の合理化に関する法律」を 1%上回る年間平均 2.4%のエネルギー消費量の削減に加え、エネルギーの種類を見直すことで地球環境保護に寄与するものです。



<1800 枚のソーラーパネルを敷地内に設置した宮崎工場(宮崎市清武町)>



バクスターの腎臓ケアおよび急性期治療事業における日本の代表取締役社長である河野行成は、「私たちは日本全国の『おうち透析（腹膜透析）』を行う患者さんが、自分らしいライフスタイルと治療の両立を可能にする、信頼されるパートナーでありたいと考えています。宮崎工場において、新たに太陽光発電システムを導入することで、患者さんが治療において必要とする透析液のより安定的な製造・供給を支援します。今後も、温室効果ガス排出量の削減に努めるとともに、地域社会における植林や清掃活動など、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります」と述べています。

※1 「おうち透析」とは：バクスターは在宅での治療となる腹膜透析および在宅血液透析をより多くの患者さんに認知していただくために「おうち透析」と名付けました

※2 2023 Ernst & Young, Australia バクスターの日本における経済効果レポート

###

2023年にバクスター・インターナショナル・インクは、同社の腎臓ケアおよび急性期治療のグローバル事業を独立した腎臓ケア企業とすることを発表しました。その新会社である Vantive への分割は、2024年後半に行われる予定となっています。この会社分割が行われるまで、腎臓ケア事業は継続してバクスターのブランド下で運用されます。世界規模の会社分割に関する最新情報については、[こちら\(英語\)](#)をご覧ください。日本では、この会社分割の準備のため、2024年5月1日付で腎臓ケアおよび急性期治療事業を行う法人名を「株式会社ヴァンティブ」へ変更いたしました。

■バクスター・インターナショナル・インクについて

バクスター・インターナショナル・インクは、日々、数百万もの患者さんおよび医療従事者・介護者に、クリティカルケア、栄養関連、腎臓関連、病院および手術製品などの主要なポートフォリオを提供しています。当社は、90年以上の長きにわたり、患者さんの生命を守るイノベーションとそれを実現する医療従事者が交わる重要な領域において事業を行っています。世界中の従業員は、100カ国以上で使用されている製品、技術および治療法により、医療を飛躍的に進展させてきた豊かな伝統を礎に、次世代の革新的なヘルスケアイノベーションを推進しています。詳しくは www.baxter.com をご覧ください。また [X\(旧 Twitter\)](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) でも発信しています。日本においては、半世紀に渡りリーディングカンパニーとして従事しており、今後も宮崎工場から患者さんの治療薬を安定的に供給してまいります。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ヴァンティブ 広報部 japan_shs_communication@baxter.com